

第9回 へそのまちお助けサポーター定例会

〈参加者：15名〉

【内容】

- ①12月案件確認
- ②案件の情報共有
- ③視察研修の報告
- ④へそサポ検討委員会からの報告
- ⑤その他
・アンケート



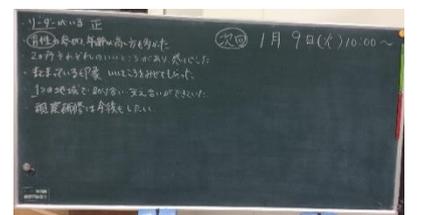
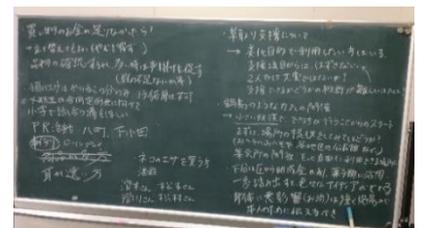
《現在の活動の中で共有しておいた方がよい事、検討委員会から》

- ・買い物のお金が足りなかったら、やむを得ない場合として、立替可能であるが、買い物前に確認はしておく。
- ・買い物数が多い時は、全ての品物を確認できないが、品物の不足があった場合等、もしもの場合は役場へ連絡をして頂くよう伝言を残す。
- ・猫のえさなどは、飼い猫の分のみの購入。(野良猫は対象外)
- ・草取り支援については、現在利用はないが、まだ継続してもいいのでは
- ・鍋島のようなカフェの開催については、やりたいと希望するサポーターがいれば、できる範囲の規模からスタートしてもいいのでは。
- ・下分は区からの助成金を菓子類の購入に活用している。一步踏み出すと色々なアイデアが出てくる。
- ・買物で酒類を希望される場合、体に影響を与えるような飲酒は好ましくなく、影響があるとわかっていて購入するのは難しい。



【視察研修を振り返って】

- ・地区単位でまとまりやすく、やりやすいようだった。
- ・ファーストペンギンとなる方が出てきたら進む！ついてくる人がいる、人のために尽くす人がいる(始まりは小さくてよい)。
- ・女性だけでなく男性も一緒に取り組まれているのが良い。
- ・時間、体力に合わせ無理なく活動されているのが良かった。
- ・民生委員等、これまで培ってきた経験を活かされていた。
- ・得意分野を活かして過ごせる居場所となっているのが良かった。
- ・カフェは1日100円の参加料で、軽食、コーヒーも楽しめるのは良いと思う。このようなカフェをサポーターでもできないか。
- ・集会所の開放等できる事を働きかけ、小さい規模で出来ることからやってみるのはどうだろうか。
- ・視察研修は次年度も実施して欲しい。
- ・各代表等の声は大変参考になった。まずやってみよう！これが大事



【次回定例会に向けて(4期生との合流定例会)】

- ・昨年度行ったようなやり方でよい。
- ・大字地区ごとにグループ分けし、そこでの自己紹介等、今年2月の流れで進める。
- ・小字で話し合う場も欲しい。
- ・へそサポPRの模擬事例は、2グループ(八町・下小田地区の方々)にお願いする。
- ・へそサポ訪問時の模擬ロールプレイは、2事例(岸川さん、松本さん、松村さん、濟木さんのサポーターチームから一つ、役場から一つ)を紹介する。
- ・4期生が負担や不安なく活動できるよう、全体でフォローしていく。

次回定例会は1月9日(火)AM10:00 公民館2F 研修室